

平成 25 年度 第 1 回三条市こども未来委員会会議録（概要）	
日 時	平成 25 年 5 月 29 日（火） 午前 10 時～11 時 30 分
場 所	三条市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
出席者	<p>検討委員：橋委員長、皆川副委員長、大谷委員、佐野委員、米山委員、横堀委員、近藤委員、渡辺委員、清水委員、関川委員</p> <p>欠席委員：桑原委員、小林委員、田中委員</p> <p>事務局：久住子育て支援課長、坂内課長補佐、片野子どもの育ちサポートセンター長、清水課長補佐、樋口係長、阿部統括指導主事</p>
委 員 会 内 容	
橋委員長	<p>定刻となりましたので、これから平成 25 年度第 1 回三条市こども未来委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、ありがとうございます。会議に入ります前に、当委員会の委員の方が代わられたと聞いております。事務局からお願いします。</p>
清水補佐	<p>今年度初めての会議であり、委員さんの中で代わられた方がいらっしゃいますので、お配りしてあります名簿の順に一言ずつ自己紹介をお願いします。</p>
出席委員及び事務局職員	<p>【委員及び事務局 自己紹介】</p>
橋委員長	<p>それでは、これより会議に入らせていただきます。</p> <p>今日をご案内のとおり、すまいる子どもプランの平成 24 年度事業実施状況及び平成 25 年度事業実施計画について、様々なご意見等いただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、事務局から、出席者数、資料の確認等についてお願いします。</p>
清水補佐	<p>本日の出席者数について報告をさせていただきます。13 名中 10 名の委員から出席いただいております。</p> <p>次に、会議資料について説明させていただきます。</p> <p>【会議資料の説明】</p>
橋委員長	<p>それでは、議題に入らせていただきます。</p> <p>では、議題（1）について、事務局から説明をお願いします。</p>
久住課長	<p>【久住課長から議題について説明】</p>
橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今ほど説明をいただきましたが、どの項目からでもよろしいですので、それぞれ関連する領域からのご発言とか、あるいは全体を見た上のご発言、</p>

<p>米山委員</p>	<p>どのような視点からでも結構ですので、ご意見及びご質問がありましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>1 ページ目の施策1の4「父親の子育て応援事業の実施」について、小学校に勤めていると、心などが安定している子どもは家庭内での状況が非常に良い子ではないかなという感じがします。そうすると父親の関わりが非常に大事だと思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。前にも質問したかもしれないが、やはり狙いははっきりしないのかなと思うので、狙いを明確にしてPRの仕方を工夫してはどうかと思っています。ぜひ父親から出てもらいたいと思っています。</p> <p>それから6ページ施策5の2「幼保小連携の推進」ですが、これは非常に成果が上がっているのではないかなと思います。というのは、入ってきた1年生が非常に安定している感じがします。幼稚園、保育所との引き継ぎを聞くと、すごい大変な引き継ぎをしてくるが、実際、子どもたちが入ってみると非常に安定している。1か月ちょっとくらいで運動会もきちっとやり遂げたので、今後更に頑張ってもらいたいと期待しています。</p> <p>8 ページ施策7の2「児童・青少年の居場所づくりの検討」ですが、地区の人たちが南小学校は閉校になった時どうなるんだろうという心配をされていますので、ぜひ、ある程度分かった段階で聞かせてもらおうと地区の人たちも期待をするのではないかなと思いますので、お願いしたいと思います。</p> <p>最後に4点目、14ページ施策13の1「地域安全マップづくり」ですが、学校経営をするにあたって、1番はやはり子どもの生命、安全の確保、それが最重要課題ではないかと考えていろいろな取組をしています。校内への不審者侵入対策等については、ある程度取組をしていますが、それでは帰るときどうかということ非常に心配しているところです。地区の人たちと何年前に安全マップを作っていますし、PTAでも作ってはいるが、それがどのくらい生きているかという不安なところが多いですので、ぜひPRをしてもらって、子どもに危険予知能力や危険回避能力を、学校だけでなく地域・家庭でもつけていただくことが大事じゃないかと思っていますので、よろしく願います。</p>
<p>久住課長</p>	<p>「父親の子育て応援事業の実施」については、少しターゲットを絞るとかしてお父さんがもっと来られるようになると非常に良いのですが。また、すまいるランドに来ているお父さん方のサークルもできればいいのにとあって、すまいるランドのスタッフが遊びに来ているお父さんたちに声を掛けるが、決して父親同士はそこでは交わろうとはしません。スタッフが一生懸命結び付けようとするが、まだうまくいっていない。こういう講座があるというような個々に呼び掛けようという試みもするが「いや、いいかな」みたいなところで、もう少し母親からの呼び掛けとか、いろんなところを駆使しながら、どうしたらいいのかということを検討したいと思います。</p> <p>余談になりますが、PTA連合会の総会に出席した時に、ほとんどお父さんだった。なぜ、ここにお母さんがいないんだろうかと思うくらい、役員になるとお父さんが出てきて、やはり飲み会みたいなのが入るといいのかなとか、昼間の会議や講演会がだめなのか、何か工夫しないとお父さんと呼ばないかな</p>

と。やはり何か工夫がいのかなというところがあったので、その辺の気付きをいただきましたので、職員とも話をしながら、またお父さんの意見も聞きながら、やっていきたいと思っています。

幼保小の連携については、米山委員から発言があり感謝します。本当に先生方が一生懸命で、年に2、3回の連携会議で中学校毎の課題とか、自分たちの子どもがどうだということを、どこがいけないとかではなく、0歳から一緒になって育てようという気持ちで、まず小学校の先生方が保育所に訪問することが非常に多くなっていて、先生方の交流が多くなったというのがカギだったかなと思っています。幼児教育と学校教育は本当に多く違いますので、目的も違えば、やり方も違う中で、どうしたらスムーズに子どもを引き渡せて、子どもたちもスムーズに小学校へ行けるかというところを、ひとつの目標を掲げてやってきているなあというのを実感しています。そんな実感の一つとしては、いつも夏ころから開催していた第1回の幼保小の連携会議を、先生方から、連携するためにできるだけ早く会議をやってほしいと私どもに要望として上がってきて今年は早く開かせてもらったことです。そんな中で保育所と小学校だけが頑張ってもどうしようもないので、保護者にもこういう取組をしていることを知ってもらいながら、今後も保護者と一緒になって進めさせてもらいたいと思っています。

南小学校の跡地活用なんですけれども、本当に心配しているということで、なかなかあそまでの大きな建物ですので、子どもの居場所や子どもの政策だけでなく、どんな所がそこ一緒に入ったら相乗効果としてなるのかというところを、今、庁内で検討しているところですので、私もこの意見を伝えて、早めにその構想を表出しできるような形になるようにきちんと伝えてまいりたいと考えております。

皆川副委員長

今、南小学校の校長先生からもお話がありましたけれど、幼保小の連携が大分良くなって、昨日職員が、学校の授業参観に、父兄じゃなくて、先生方から来てくださいということで、行ってきましたら、中には4月から通って5月になるとちょっと不安な子がいたりとかするのですが、そういう子がだんだんいなくなってきたというか、小学校と保育園の取組の連携の中でいろいろ相談をしてきたのが出ているのかなと思ったりもして、お子さんたちの様子を聞いたりとか、ああいうふうに頑張っているねとか、この子はこうなりますよとか、保護者の方は知らないんですけども、やっぱり保育園も送り出した子が心配ですし、どうやっているかという中で、こういう風にしたらその子も伸びますよとか、そうになりましたねという連携が、小学校と保育園との連携がこうできて良いのかなと思いました。また、保育園同士つながりの中で遊びに行ったりとか、今度この小学校に入りますということで、保育園同士つながりもできてきたりとか、だんだん良い方に向かっているのかなと思って保育士から聞いていました。

先ほど南小学校のことも出ていたんですけど、昔は交通量もなくて、私の小さい頃は結構遊ぶ場所があったりとかして、今はなかなか子どもたちが遊べる場所がちょっとないのかなというのもあるので、働くお母さんがいっぱいいらっしゃるって核家族が多い中で、放課後子どもが安心して遊べるような場所が

	<p>三条市の中に、拠点になる場所がぽつぽつとあるといいのかなと思います。小学校のお子さんだったら校庭で遊んだりもできるんでしょうけど、親御さんが連れて遊びに行けるような場所がもうちょっと三条市であるといいのかなと思いました。また、外で思いっきり遊べるような場所があるといいのかなと思いました。</p>
<p>久住課長</p>	<p>支援センターやすまいるランドのように親子や小さい子どもの集える場所というのは、少しずつですけれども本当に充実をさせてきたなと考えています。これからは、本当に学童の子どもたちが子ども同士で遊べる場、その場をどうやって確保しながら、また子どもたちを表に出すようにしていくかということは、本当に重要なことなので、まずは、拠点になるような施設をという風に思っていますので、できるだけ早くお示しをしたいと思っています。</p>
<p>関川委員</p>	<p>8ページの児童クラブのところなんですけれども、別紙1で児童クラブの登録児童数を拝見させていただいて、年々子どもたちが増えているということに驚いているんですけれども、昨年とその前の年にちょっと機会がありまして児童クラブに臨時職員として行かせていただきました。夏休みなんですけど、夏休みになることによってまた更に子どもさんたちが入ってくるんですね。そうすると通常の数よりもプラスアルファということで、教室が、あふれんばかりのお子さんが実はいらっしたんです。私はその状態は全然知ることもなく、臨時職員として行かせていただいたときに、あっ、こういう状態で子どもさんたちは、40日間の夏休みの間いるんだなということにびっくりしました。その時に通常の職員のほかに、夏休み用に臨時職員が追加で派遣されるわけなんですけれども、その時に思いましたのが、いろんなお子さんがいるんですけれども、学校にいる時の表情と児童クラブに来る時の表情がまったく違います。学校の中ではやはり緊張して、とても良いお子さんでいらっしたと思うんですけれども、児童クラブに行く環境がまったく変わります、迎えてくださる職員の方もお母さんのような感触で迎えてくださるんですけれども、まったく別な顔を見せます。私もスクールアシスタントで、午前中子どもさんたちを見させていただいているので、夏休みの表情を見た時に「エッ」とこんな風が変わっていくんだなということを改めて感じさせていただいたんですけれども、その時にやはり人数が増えるということで、職員の方々が手が回らない中、どうしても悪さをするお子さんがいらっしたと、怒号が飛ぶ、叱りつけるという場面が要所要所でありました。子どもさんたちは、叱り飛ばして、その時は分かるんですけれども、やはりきちんと言葉を選んで諭すようにお話をすれば、お子さんたちは分かるんですけれども、やっぱりそうじゃない場面も多々あるということを見た時に、児童クラブの職員の人たちは、誰でも良いわけではないんだなということを思いました。やはり経験があったりですか、例えばこういう場合にはこういう対処の仕方をした方が良いというマニュアルのようなものがあったりとか、そういう風になると職員自体の戸惑いもなかったりとか、職員同士の共通認識といいますか、10時から12時までいらっしたる人、12時から2時までいらっしたる人、2時から6時までいらっしたる人ということで、交代で常に職員が変わっていますので、子どもたちは9</p>

時から6時までいらっしゃるお子さんもいるわけなんですけれども、そうするとその中に職員がころころ変わるといのは、とても子どもたちにとってはどうなのかなという部分が私はちょっと感じました。ですので、職員を採用する段階で、誰でも良いわけではなくて、やはりちょっと経験がある方とか、少しこういう部分では見れますという部分の経験がある方が職員として採用されると、楽にお子さん方に対応できるのではないかと思いました。スクールアシスタントの年間の授業時間が132時間で、年々学校に勤務している時間が減らされてきています。一つ提案なんです、スクールアシスタントをして更に放課後、児童クラブなどでも時間があつたらお子さんたちを見ていただけるかどうか、採用の場所で、アシスタントにも声を掛けていただき、お子さんたちを安心してトータルで、学校でも見てもらえるという風な声掛けをしていただくと、アシスタントも時間が減らされている中で、じゃあ放課後もちょっとお子さん見させていたきたいなという風な方もいらっしゃるんじゃないかと思うので、ちょっとお子さんの顔を知っているという部分では、夏休みの臨時職員ですとか、そういう部分では、良いのではないかなと思いました。もし機会があればお願いしたいと思います。

久住課長

児童クラブの職員はどうあるべきだという指針も作っています。通常いる職員については、研修計画のもとで研修もさせていただいています。ただ、ご存じのとおり、特に夏休みになりますと、朝も7時から、保育所と同じ夜も7時まで、とても交代じゃないと難しいので、ハローワークにも出し、何とか人数を集めて対応しているというのが、現実ではございます。

あまりにもどこも児童クラブに対する希望が多くなってきているので、全国の市町村の中には、いわゆるトワイライトスクールと呼んでいるところを設けているところもあるんです。放課後の学校のように、そこにも時間割みたいなものがちゃんとあるんです。ただ、学校の先生方はそっくり代わって、児童クラブの先生みたいな人が来るんですけど、何時から何時までは宿題ですというようにきっちりカリキュラムを組み、学校と同じようなのが7時くらいまで続いて、子どもは帰っていく、というようなことをさせるしかできないような感じになってきたりしている。ただある程度の時間割とかいろんなことではやっていて、その中で子どもの素の姿を出させたいなというの、児童クラブにあつて、そのジレンマになかなか対応しきれない部分も正直あるのも確かです。

それが特に長期休暇のときには、本当にそこだけにパートとして入って見てもらうというところで、それが1人、2人の子どもを見るのであれば良いですけれども、本当に何10人からの子どもを見ていただくということになると、なかなか手が回らない。でもそうは言っていられませんで、私どもも、子どもはそこに長くいるわけですので、子どもがどうあつたら本当にいいのかという視点に立って、職員にも働き掛けていきたいと思っておりますし、本当に関川さんのようにアシスタントがそのままなつてくださるという方が多くいらっしゃれば、それは1番良いことだという風に思っていますので、もっともっと、その視点でも、声掛けをさせていただければなと思っています。

佐野委員	<p>保内や井栗とか学校の中にある児童クラブは、保護者からすると学校にそのまま居るから、児童クラブの児童厚生員の方を学校の先生と同じような感覚で見えてしまう。事故があって、救急車が来るような怪我をしたりすると、ちゃんと連携をされているようなんですけれども、やっぱり普段、なかなか先生方は、それは私たちの仕事じゃないと。そういうことは分かるんですが、何かあったら聞くとちょっと連携を上手にやっていただけると良いのかなと思います。</p>
久住課長	<p>本当にその通りで、はっきり言って先生方との連携ということでもあります。ちなみに米山委員のおられた学校はこれまでも連携を一番とっていただいていた学校でしたので、本当にすぐに、そうした事故だけではなくて、いじめや様々な障がいなどに対応していただきました。子どもたちは学校で見せる顔、また、児童クラブで見せる顔というのがあって、人間関係もそのまま引き継いできたり、また、例えばクラスでは何もないんだけど、児童クラブでこんなことがあった、昨日こんな喧嘩をして、今日はどういう顔で児童クラブへ来たんだというような人間関係もあるわけです。そういうときでも今日こういうことがあったんですということを学校も児童クラブに言ってもら、児童クラブも昨日ちょっとこういうことがあって保護者にもお話をしましたし、二人とも少しこんなになっている状態なんですということを学校に伝えるというような連携が、本当に子どもの育ちという面でも連携をしなければいけない、最も連携をしなければいけないという場所でもあるという風に思っています。</p> <p>はっきり言って、できている学校、できていない学校、様々であります。子どもにとって一番それがいいことでもありますので、今後とも定期的に先生方の懇談会、せつかく校内にあるというのは、そういう意味でいいということで、今、校内に、校内にという、保護者も校内であれば、学校の先生も見ていないのではないかと、さっき言われたみたいに、見ているのではないかと、送り迎えも学校なんだということで良いということで、保護者も圧倒的に校内に作っていただきたいというようなご意見で、その校内の利点をどうやって動かしていくか、やっぱり人だと思うので、今のご指摘、もっともっと学校との連携を図ってまいりたいという風に考えています。</p>
橘委員長	<p>素朴な意見ですが、学校で行うとすれば、PTAの方々の参加みたいなことも考えられないですか。スクールアシスタントとか、そういう方だけではなくて、PTAが自分たちの子どもがどういうふうになっているかみたいな、そういう視点は、あまりないですか。</p>
久住課長	<p>放課後子ども教室もそうですし、今PTAの役員の成り手がいないところから始まって、自分の子以外の者にあまりかかわりたくないという保護者が、本当に多くなってきて、どうやってPTAも、役員の軽減とか、保育所の中にもその流れが来ておりまして、ある時は、父母の会は何で必要なのかというようなところで、無くしてきているという傾向の保育所も出てきている。ただ連絡は必要なので、そういう連絡体制だけは、きちっと整えておけばよくて、そうじゃないことはしなくても良いのではないかっていうことも、流れとしてはあるのは事実です。自分の子どもだけではなく、本当に地域の方や別な保護者の</p>

	<p>方の目が必要なのかというようなところを、もう1回何とかできないものかというところを、この間もPTAといろいろお話をさせていただいて、もう少し、まさに校長先生たちは思ってもらえるのではないかと思うんですけども、そこをどうやって巻き込んでいくかというのが課題だと思っています。</p>
橘委員長	<p>校長先生方、ご助言はありませんでしょうか。</p>
横堀委員	<p>中学校は、基本的には部活動がメインになりますので、子どもたちを見ると、日々忙しいなというのが、我々教員側から見ても実感であります。それを支えている職員も、土日もなく部活を頑張ってくれています。そういった中でも子どもたちはいろんなものを学んでくれる場でもあると、授業だけではなくて、放課後友達と学ぶ、部活で技術を学ぶ、それから社会のルールを学んでいくということで、中学校としては、部活の意義は大変あるものだと捉えています。</p> <p>PTAとの関わりということですが、職員もPTAの一員でございますので、いろんな部分で地域の方たちと接します。この前運動会を見に行った時に、やはり地域に元気があるというところは、やっぱり子どもたちも非常に穏やかで、連携が取れているところは、生徒指導上の問題も比較的少ないと言われております。時代の流れているのは怖いなと思いますけれども、やはり家庭・地域・学校という3者が連携をし合うということは、たとえPTAの活動がないとしても、どこかでこう支え合っていくということは大事ではないかなという風に考えています。</p> <p>違う視点で少しお話したいと思います。</p> <p>先ほども出ていた「父親の子育て応援事業」なんですけれども、お父さん方の気持ちを考えますと、私もどこかに集まって、「じゃあこれに出てきませんか」と言われたら、「いやあ、勘弁してくださいよ」という消極派なタイプなんですけれども、今、読ませてもらうと、すまいるランドを会場にこういう講座を開いていると理解をしているところなんです。例えば父親参観日とかで、出向く、待つだけではなくて、そういう父親参観日と、これだけの保育園があると年間いくつ行けるか分からないんですけども、そういった保育園との連携の中で、ちょっと時間を作ってもらえませんかという中での話であれば、お父さん方も、周りが知っているお父さんであると比較的安心して話は聞けるかなという感じはしていたところであります。</p>
橘委員長	<p>運動会なんかだとお父さんの参加って、結構、小学校なんか多いんですか。</p> <p>大学の入学式にお父さんがすごく多いんです。それを考えると子どものことにお父さんが無関心というよりも、前よりはむしろ関心があるんじゃないかなというふうに、大学教育で考えると思います。だから、それを、何がそのポイントになるのか、ちょっと私も分からないので、もしその辺が。</p> <p>いろいろとアイデアを出して活性化してってください。たしかに、お父さんが参加すると地域も活性化するかもしれませんね。</p>
大谷委員	<p>お父さんの仕事をつくるというか、お父さんから来ていただかないとこの仕</p>

	<p>事ができないんです、運動会にすれば、旗張りとかは役員ばかりじゃできない、お父さんからやってもらわないとできないんですよと。そういう風にお父さんがいらしたらぜひ来てくださいということで、そういう風に言ったら、お父さんが喜んで出てきた覚えがあるんです。お父さんと声を掛けて貰わないと自分が出ていけない、やっぱり、そういった呼び掛け、お父さん方からぜひこの仕事をしていただきたいということで、でてきていただいて、今でも言われるで、そういう声掛けがあった方が行きやすかったと言われます。</p>
橘委員長	<p>いろんなアイデアがどうもありそうですので、もう少し…</p>
渡辺委員	<p>プレママプレパパ教室について、これはすまいるランドでやるわけにはいかないのでしょうか。すまいるランドで月1の講座みたいな感じで、自由に、月とか関係なく行けるとたぶん1番、気になることがあったときに行けた方がいいのかなと思うのと、実際出ているので分かるんですけど、赤ちゃんのお人形を使っておしめ交換の体験とか、お風呂の入れ方とかやるんですけど、それもそれでいいんですが、実際に赤ちゃんに出てきてもらうということが、きっとすごく良いと思うんです。なので、すまいるランドに来ている親子の方に声を掛けて、質問が出るかもしれないけれども、できれば一緒にちょっと出てみませんかということで、実際のお母さんの声とか、あと実際に生後1か月とか、生後2か月とかの赤ちゃんを間近で見ることで、あー、やっぱりかわいいなって、これから頑張ろうって思えるかもしれないし、あとパパもそうですよね、パパにすまいるランドに妊娠中に来てもらうと、「こういうところなんだ、じゃあ、俺、生まれたら、連れてきて、みるよ」というきっかけにもなると思うし。せっかくああいう素敵な部屋が奥にあるので、そこを使ったらどうなのかなと思います。</p>
橘委員長	<p>いいかもしれませんね、そのアイデア。抱き方とか、おっばいの仕方、特に首が座らない時に、初めてのお母さんって、すごく抱っこするのが不安みたいですよ。</p>
清水委員	<p>実際にわたしは出ていないんです。やっぱり月一で、日にちが決まってるという状態だと、他にもう予定が入っていたりとか、あとはやっぱり内容が産院さんでやってくださっているプレママの教室とかぶっていたりすると、こっちで出るからいいかと。</p>
渡辺委員	<p>出たママが、妊娠中のママに「あれ魅力ないから行かなくていいよ」って言うてしまうんですよね。だから、もし、そこに赤ちゃんが来るよとか聞くと、じゃあ、せっかくだし行ってみようかなとか、先輩のママの話が聞けるよとか。</p>
清水委員	<p>本当に、自分がこれから産む時に、生後1か月、2か月の子を実際に触れられたら。自分は保育士をやっていたんで2か月からは扱ったことはあるんです。でも、生まれてすぐの子は、今でもやっぱり不安なんです。出てきて大丈夫かな、自分にはできるのかなというのがあるんで。それはすごく良いと思</p>

<p>渡辺委員</p>	<p>います。</p> <p>あと、10ページに休日保育があるじゃないですか、これはすまいるランドではだめなんですか。すまいるランドがあるだけでは足りないんですか。</p> <p>私としては、1時間300円で安いし、私も実際に利用したこともあるので。いいんですけど、休日まで保育園と言われると、子どもがかわいそうで。うちの一番上の年中の子とかも、休みが分かっている、「明日休みだよ、どこに行く」という会話があるので、子どもにとってちょっと負担が大きすぎるんじゃないかなと思うし、また、すまいるランドで預けるのであれば、子どもも保育園と違う環境だし、服装も自由だし、来やすいんじゃないかなと思うので。</p> <p>あとこことは別なんですけど、支援センターの先生たちは、もうちょっと一体感が出ないんですかね。それこそママサークルで、ママたちの話を聞いていると、いろんな支援センターの話がいろいろ入ってくるんですけど、うちの支援センターは、こうだよあだよっていうのを聞いていると、けっこう個人情報が漏れている支援センターも多くて、例えば、子どもを預かっている先生が、「今日はこの子のママ、美容室へ行ったんだよ」とかポロっと言ってしまうたりされると、預ける親としては心配なんです。この先生こういうこと言っているんだと思ってしまうと預けにくいって言葉がけっこう出てきているので、もうちょっと一体感で、もうちょっと秘密を守っていただきたいと思います。そうでないとリラックスで預けるということが難しくなってきました。</p> <p>あと、ここには載っていないんですが、3歳まで集団検診があるじゃないですか、集団検診はなぜ午後なんですか。すごく大変なんですけど。</p>
<p>久住課長</p>	<p>申し訳ございませんが、医師の都合なんです。ローテーションを組んでいただいて、午前中は診療を各医療機関で持っていられるので、ちょうど昼休みというか、医師に自分のご飯も食べないで来てというようなことをしてもらっているというのが状況です。同じようなことが市長へのたよりで来るのがあって、それこそ「私は企業に勤めていてなかなか休めませんので土日やってもらえませんか」とか、今そういうところまで来たんだという風な感じもあって、そうすると土日だけを医師になんていうことはできないので、本当に集団検診をしないで、全部医師のところへ委託ということになります。昔は6か月も全部集団検診でやっていたのを、今は好きな病院でやってくださいということで個別健診でやっています。ただそれもいいんですけども、私たちは、3か月と3歳はやはり保健師が絶対的なチェックをして、そして虐待だとか、保護者の不安だとかいろんなことを見たいということで、3歳は子どもの成長の中で一番のチェック期間ですし、その後、今5歳をやりましょうという風にしましたけれど、やはり要は1歳6か月、3歳、3か月、これだけは集団で。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>せめて2つに分けるとかもできないんですか。待ち時間が長くてとても大変で、ママたちに責任をもって見ていてくださいねと言われてもやっぱり見えない親御さんもいらっしゃるし、もうちょっと人数が少なければ早く進むんじゃないかなと思うんです。</p>

久住課長	そうすると、先生方が倍いるということでもあるので。
渡辺委員	せめておもちゃを出してもらえないでしょうか。3歳健診のときだけ、ちょっとかごに入ったおもちゃが出ていて、ちょっと遊ぶものがあるって子どもたちもきっと気がまぎれていいんだけど、そのほかの健診はまったくおもちゃが出ていなくて、勝手に絵本のカーテンが開いていて、自由に絵本だけとっていいですよなんていうのなので。
久住課長	わかりました。もう少し子どもがこうちょっと、遊べるってわけじゃないですけど、工夫でしょうかね。
橘委員長	<p>いろんなご意見をいただきまして、ありがとうございます。いろいろアイデアもいただいたりして、ぜひ参考にして、次回までに組み入れられたらいいなと思っています。</p> <p>事務局から何か次回のこととかいろいろあるかと思いますので。</p>
久住課長	<p>次回につきましては、秋頃開催をさせていただければなど、またそのときには、先ほど言った居場所ですとか、例えば3階の工事も大体9月くらいには終了したいなと思っております。これからすぐ始まるんですが、そんなところで、具体的なものを見てもらったりということで、秋頃開催とさせてもらいたいと思います。また早めにご通知をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
橘委員長	<p>それではこれで、閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>(11時30分終了)</p>